

# ユーザーレポート

# User Report

ユーザーレポート

— 0の証明 —

福岡倉庫株式会社

## 自動点呼システム「e点呼セルフTypeロボケビー」 で実現する安全管理とDX化の融合

九州を拠点に全国展開する物流企業として長年の実績を持つ同社は、常に業界の課題に先駆けた施策を実施しています。最近では、自動点呼システム「e点呼セルフ Type ロボケビー」を活用した安全管理とDX化の融合において注目を集めていることから、本レポートではその革新的な取り組みを紹介します。

### ご利用機器



• IC運転免許証リーダー



### 導入のきっかけ 業務の標準化・効率化をめざして

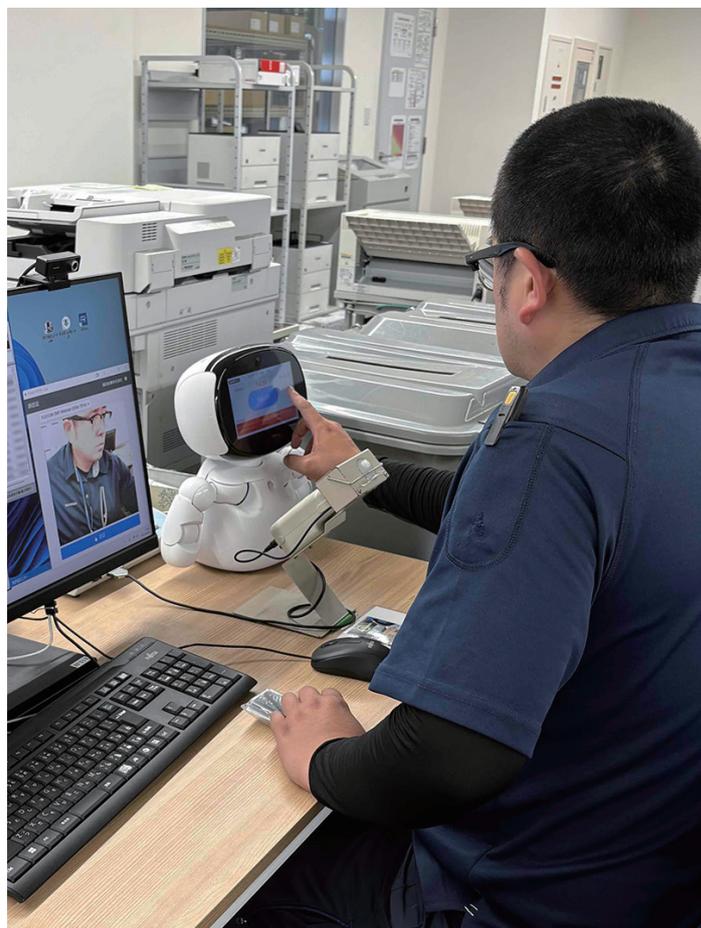
当社が近年直面していた課題は、「点呼の質のばらつき」と「運行管理業務の分散・属人化」でした。拠点による差もあったことから、会社全体で業務の標準化・効率化をめざし、DX化に取り組む決断をしました。社長の「新しいことへの挑戦」を積極的に推進する姿勢も追い風となり、2024年2月に陸運部福岡営業所で自動点呼システムを初導入。続いて、2025年8月には梱包輸送部の岩国、大阪、名古屋、東京、福岡の計6拠点へと自動点呼システムの展開を拡大。これにより、点呼の均一性と、業務負荷の低減を同時に実現しました。



### 製品導入による効果 効率化とコスト削減の効果が顕著に

導入当初は、ドライバーによる「顔認証に慣れない」などの戸惑いが見られました。しかし操作自体は簡単のため、すぐに運用が定着。現在では年齢を問わず、全員がスムーズに活用しています。また初期には、運行管理者からも「点呼計画の作成に手間取る」といった声がありましたが、全体を見通すと、管理者は点呼業務から解放され、配車業務や運行管理そのものに集中できる体制が整いました。特に早朝点呼における相互確認や勤務シフト上の調整といった負担が軽減されたことは、大きなメリットとなっています。

さらに、自動点呼の仕組みによって「安全がしっかり確保されている」という信頼感が高まり、ドライバーもより落ち着いて業務に集中できる環境が整いました。結果として、効率化とコスト削減の効果がはっきりと現れています。



※文章、写真の無断転載や抜粋、加工は固くお断りいたします。

# ユーザーレポート

— 0の証明 —

福岡倉庫株式会社

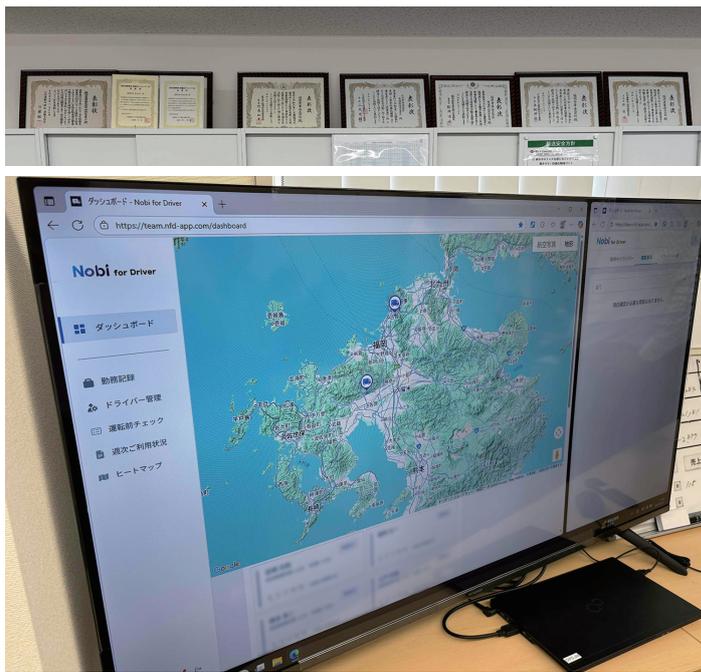
## 今後の展望 業務前自動点呼に対応し、 より柔軟な業務体制の構築を

今後は業務前自動点呼にも対応していく予定です。この新たな取り組みにより、特に夜間・早朝の点呼や勤務シフト上の調整における負担をさらに軽減できる見込みです。実現すれば、より効果が実感できると確信しています。加えて、将来的には相互確認作業の効率化や人員調整の最適化にもつながることが期待され、運行管理の質を高めつつ、より柔軟で効率的な業務体制の構築が可能になることを想定しています。



## 安全への 取り組み e-ラーニングを活用した安全教育で 柔軟な学びの提供を続ける

2024年11月以降、スマホを用いたe-ラーニング形式の安全教育（KYT、ヒアリング動画、理解度テストなど）を導入しています。コンテンツ内容は毎回更新され、さらに3か月に1回の対面研修を組み合わせることで、受講者に合わせた柔軟な学びを提供。運行管理者の負荷軽減に加え、「会社が社員を守っている」という意識醸成にも寄与しています。



## 社内の変化 ドライバーの心理的な負担が軽減、 社内全体の安心感が向上

導入当初にあった戸惑いや抵抗感は、習熟が進むことで薄れていきました。運用が定着すると、むしろドライバーの心理的な負担が軽くなり、点呼そのものに対するストレスが減少。安定した点呼プロセスにより「安全を前提とした働きやすさ」が生まれ、業務全体の安心感が向上しました。さらに、自動点呼で確認事項が整理・標準化されたことで、運行管理者とドライバーの対面時間は、安全教育や具体的な指導・助言へと重点が移り、コミュニケーションの質が向上する効果も生まれています。

取材ご協力

福岡倉庫株式会社

陸運部 福岡営業所

所長 照本 啓介 様



住所：〒811-3128 福岡県古賀市玄望園9

TEL：092-940-2525

※文章、写真の無断転載や抜粋、加工は固くお断りいたします。